

ハートレター

第 128号
2025 年 5月1日
発行 社会福祉法人 絆の会
発行責任者 土井 まゆみ
事務局所在地:
長野市若里 3-14-23
TEL 026-226-6045
FAX 026-262-1262
houjin@kizuna-nagano.or.jp
http://www.kizuna-nagano.or.jp/



社会福祉法人絆の会



Q 検索

2P からの内容

- ・2024 年度精神保健福祉ボランティア養成講座開催・長野県精神保健功労者表彰
- ・Rainbow 絆 北信越東海ブロック予選大会に向け特訓中！
- 3P・家族会定例会・信州そば工房きずな・オレンジ若里・グループホーム・びーんず・あんだんて・「ベルギーから学ぶ共同創造の精神医療改革」研修に参加して
- ・新任職員紹介
- 4P・KizunaShop 感謝祭
- ・久しぶりに皆が集まりました
- ・スプリングマルシェ開催しました
- ・メンバーの活躍あれこれ

ありがとう セルフィー平林

2015 年 4 月、清水アパートを閉鎖し、アパート形式のセルフィー平林を開設しました。居室は 5 部屋、少し離れた場所にサテライト 1 部屋、いずれ一人暮らしを目標としている方や集団での暮らしが苦手な利用者が生活し、この 10 年間で 6 名の方が一人暮らしへ移行していきました。

ここ数年、市内にも設備の整った新しいグループホームの開設が目立ってきており、需要に対して十分な供給が見込めるようになってきました。セルフィー平林は老朽化が進み、2025 年 2 月の賃貸契約終了を機に閉鎖することになりました。

アパート型グループホームセルフィー平林の一番の特徴は、自立に向けた生活ができることです。開設 3 年目には利用者で話し合い、週 3 日の夕食提供を利用者で作ってみることにしました。料理が苦手な N さんは初めての調理後、「手間取ったが、みんなが手伝ってくれてうれしかった。」と、少し自信を持てた様子でした。料理は面倒と言っていた S さんでしたが、豚バラ肉と野菜がゴロゴロと入ったカレーはみんな大好きでした。F さんが作るレバニラは、材料の鮮度を気にかけて買った買い物からスタート。手が込んでいるだけあり、「おいしい」と評判でした。苦労した後、みんなに「おいしい」と言ってもらえる喜びやうれしさが自信にもなり、夕食づくりは継続されていきました。

昨年、一人暮らしをスタートさせた利用者のひとはモネや印象派の絵のカレンダーを飾り、好きなものに囲まれる生活へとリセットでき、またもう一人は、外泊の届けや当番がないことで自由な生活を楽しんでおり、他の方々も新しい生活にそれぞれの自分らしさを見出しているようです。食事作りが大変だという声も聞きますが、セルフィー平林後の生活を切り開いていることをとても頼もしく感じています。

お世話になりました皆様、10 年間本当にありがとうございました。

(横山真紀子)



お別れ会の様子

思い出



お花見



クリスマスパーティ



焼肉パーティ

